

青い波北陽台

令和4年3月24日 発行
長崎県立長崎北陽台高等学校
西彼杵郡長与町高田郷3672
TEL 095-883-6844
FAX 095-883-0776
発行責任者 山口 千樹

「身近な事象について考える」

教頭 川原 智司

3月に入り、寒さが急速に緩んで小春日和の日々が続くとともに、夕方の部活動終了時刻頃まで光が差し、日照時間が長く感じられるようになりました。終業式の頃には、学校の周囲の木々が淡い色調に包まれ、朝夕においても一層明るさを増してくることと察しています。



ところで、真冬の時期の早朝の時間帯、学校の正門に至る「つつじ坂」は、麓の道路（北陽台下のバス停付近）の交通量がほとんどなく閑静な環境下にあり、張り詰めた冷たい空気の流れの中において視覚で得られる光景もコントラストの低い単調な色彩で、歩を進めていく際には風切り音等のわずかな環境音が貴重な情報源として意識されます。日々観察を続けていくと、校舎に近づく決まった時間帯に、比較的大きな音が西側から響き、音が聞こえる方向に目を向けると、闇夜の中に光の点滅を伴いながら東の方向へ瞬く間に進んでいく様子が捉えられました。光の点滅の正体は一体何なのか、非常に気になってパソコンに向かったところ、航空機の運航状況をリアルタイムに把握できるアプリを活用することにより、その実相を確認することができました。

航空機は、出発空港から到着空港までの間を一直線に飛ぶのではなく、自動車や鉄道と同様に決められたルートが存在し、こうした航空路は飛行していく方向や高度を決めて安全に航行できるよう航空保安施設（航空機の運航を支援するために飛行コースを提供するための施設）同士を直線で結んだ経路として公示されており、地形等を考慮して一定の幅を有していると言われます。航空図を見ると、直線距離において長崎空港に近接する本校の上空付近は、五島列島や熊本県の天草地方からの航空路の交点となっていることがうかがえます。なお、バンコク（タイ）やクアラルンプール（マレーシア）といった東南アジアの都市を出発して日本の各地に向かう便は、現地を深夜に出発して早朝に九州上空を通過する便が多く設定されており、実際に一昨年度の修学旅行でシンガポールから一夜を明かして福岡空港に向かう航空便に搭乗した際には、シートに備えられているモニターからの情報により、長崎市上空を縦断する形で北上して長崎空港付近に抜けるルートが採られていることが確認できました（この時、長崎市周辺上空は厚い雲に覆われており、残念ながら空の上から本校を捉えることはできませんでした。）。

本校の上空付近は、前述のアプリにより、日本国内に発着する便だけでなく、世界各地を行き交う便が通過する重要な航空路が存在することが把握できましたが、このようにして身近な事象を多面的に捉えてみると新たな発見が得られるのではないかと考えます。時間的に余裕のあるこの年度末に、自分の日常の生活の中から五感を働かせて関心事や学びを深めていくことを期待しています。

～2月28日（月）各種表彰・卒業記念品贈呈式・花束贈呈式～

① 各種表彰式

優良卒業児童生徒表彰 永井 菜摘
卒業生顕彰【県高体連】 川久保 瑛斗
卒業生顕彰【県高文連】 野口 紋寧
陽の丘顕彰【本校】 久田 脩平



② 卒業記念品贈呈式

40回生の皆さんより、テントを1張りと冷凍庫を1台寄贈していただきました。授業や行事等で大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

③ スクールバスの運転手さんへの花束贈呈式

3年各クラス交通委員の参加のもと、毎日お世話になった長崎バスの運転手さんに向け、卒業生を代表して河邊 周さんがお礼の言葉を、森 佳音さん、清水吾一さん、石山 佑衣さんが花束を贈呈し、感謝を伝えました。

～第41回 卒業証書授与式～

3月1日（火）に第41回卒業証書授与式が挙行政され、普通科233名、理数科38名の計271名が巣立っていきました。コロナウイルス感染拡大防止のため、卒業生、保護者、教職員と在校生（クラス代表、部活動代表）の参加となりました。式では、在校生を代表して2年1組の品川稜侑さんが送辞を、卒業生を代表して3年7組の山崎 陸さんが答辞を述べ、荘厳で感動的な式典となりました。卒業生の今後益々のご活躍を教職員、在校生一同願っております。



高校入試 合格発表

3月16日（水）、令和4年度公立高校後期入学者選抜の合格発表が行われました。前期・後期入試の合格者である計280名が本校第44回生となります。

合格発表では、緊張した面持ちで自分の受検番号を探す姿や、番号を見つけ保護者と喜びを分かち合う姿が見られました。入学後は、自分の目標に向かってさらに頑張ってくれるものと期待しています。また、合格発表がHP上でもありました。

～卒業生から在校生へのメッセージ発表会～

3月17日(木)に、卒業した41回生8名から後輩に向けて進路実現に向けた熱いメッセージを送っていただきました。1・2年生は各教室でオンラインを通じ、先輩の話をメモを取りながら聞きました。ここで、8名の卒業生からのメッセージの一部を紹介します。

- 受験は「マラソン」。飛ばしすぎず、遅れすぎず、一定のペースで走り抜く。
- 先生に質問しまくろう。些細な疑問の放置が合格から遠ざける。
小さな疑問をメモで残し納得いくまで質問したことが合格に大きく影響した。
- 北陽台生の強みとして、文武両道は続けよ。
大事なことは日々の積み重ね。
- 「絶対に合格する」という強い決意。
- 万全な状態で受験を迎えるためにも、
信頼関係を大切に。(家族、友人、先生など)
- 焦る必要はない。しかし、油断は禁物。
- 自分に合った勉強方法の確立。
(例) 休日は学校や図書館で勉強
日頃の課題や定期テストに向けた勉強や、手元にある教科書をしっかりと
こなすことが受験に直結
YouTube等には自分に合った勉強法や効率の上げ方等、いろいろあり
- 高く険しい山ほど、頂上には絶景が待っている。絶対にあきらめず、最後まで
頑張してほしい。



次年度へ向けて

1学年主任 林 圭介

早いもので、君たちが入学してから1年が経ちました。入学時の気持ちなどはまだ鮮明に覚えているでしょうか。目標として掲げていたことに向けて順調に進んで行けた人、思うように前に進めずに苦しい思いをした人など、各自がそれぞれの1年間を過ごしてきたわけです。なかなか自分のことは振り返る機会はないだろうと思いますが、この時期にしっかりと今までの自分と向き合い、反省すべき点は反省し、北陽台の2年生としてどのように生活をしていくのか、明確な展望を持ちながら生活していきましょう。

北陽台の中での2年生は、中堅の学年としてさまざまな形で学校の活動に貢献していかなくてはなりません。次の6月に3年生が部活動を引退すれば、部活動における最高学年は君たちです。新しく入学してくる後輩たちとともに、部活動を牽引していく責任が生まれてきます。学校行事や生徒会活動などでも同様の場面が増えていくことと思います。責任を果たしながら、いろいろなことを楽しんでやってもらいたいと思います。

～令和4年度人事異動～ (この度の人事異動で、11名の先生方が退職・異動となりました。)

赤瀬 郁子 (退職)	月川 利栄 (鳴滝高校通信制)
川原 智司教頭 (諫早高校副校長)	林 圭介 (大村高校)
守 慶直 (県教育委員会)	河崎 徹男 (西陵高校)
永田 智揮 (上五島高校)	阪口 令 (長崎東高校)
西 裕子 (諫早高校)	熊本 由美子 (県育英会)
植木 三聖 (南島原市立大野木場小学校)	

春休みの過ごし方

2学年主任 下村 かおり

3学期も終了し、いよいよ42回生が最上級生になります。「3年0学期」とよく言われますが、4月から「1学期」の好スタートをきるためには、0学期の過ごし方がとても大切です。春休み中は自分で自分を律しながら生活していく必要があります。何から始めようか・・・とぼんやり思っている人は、まず、自分の興味・関心を鑑みて、複数の大学や学部学科を比較しながら、志望校に関する研究を深めましょう。入試で必要な科目や配点についてもしっかり調べる。そして1年後、5年後・・・の自分をイメージすると、今取り組まなければならない課題が見えてくるはずですよ。「5秒ルール」という言葉がありますが、思い立ってすぐ行動に移すことで「やる気」は生まれるのだそうです。やらねばならないと頭でわかっているのと、実際にやってみるのには大きな壁があります。この壁を打ち破りましょう。5秒ルールにのっとり、まずは教材を広げて問題を解いてみる。新たな学習スタイルが生まれるかもしれません。有意義な春休みを過ごして新3年生を迎えてほしいと思います。

～4月の主な行事予定～

8日(金) 大掃除・新任式、始業式

入学式・PTA入会式

11日(月) 校内実力試験(1年)

12日(火) 部活動編成、PTA紙上投票

13日(水) 歓迎遠足(18日 予備日)

14日(木) 理数科対面式

18(月)～21(木) 面談週間(個人面談)

20(水)～21(木) 理数科宿泊研修(1年)

27日(水) 校内普通科・理数科課題研究発表会

29日(金・祝) 校外模試(3年) スタディサポート(1年)

※体力テスト・身体測定 1年…25日(月)、2年…26日(火)、3年…28日(木)

